

令和4年度事業報告

丸3年猛威を振るった新型コロナウイルス感染症も、ようやく収束のときを迎え、5月には感染症法上の分類が、行動制限を伴う2類から季節性インフルエンザと同様の5類に変更されています。依然として油断のできない状況は続きますが、3年続きで出席者を限定しての縮小開催としていた定時総会も、今回、通常規模で開催できる運びとなりました。

とはいえ、令和4年度の大半は、厳しい事業運営を余儀なくされておりました。厳しい状況にあっても、「人生100年時代」を見据え、「SDGs」の達成に向けてシルバー人材センターの果たすべき役割の重要性を踏まえ、低迷する会員数や契約金額について反転攻勢をかけていくことを最重点課題として取り組んできたところです。

まずは、民間企業のアウトソーシングや自治体のコロナ関連業務の補助など、事務系を中心に新たな分野に積極的に参入しました。この結果、全国的な傾向である女性会員の伸びにも支えられ、会員数は102名増の2,807名と、久しぶりの3桁増を達成し、過去最高となっています。また、契約金額においては、コロナ禍で契約の打ち切り・縮小が続く一方、新たな分野で業績を伸ばしたことにより、わずかではありますが、前年度実績を上回ることができました。これは、「ピンチはチャンス」を現実のものにするために、組織一丸となって不断の努力を重ねてきた結果であるととらえています。

また、人口減少やグローバルな競争激化に対応するため、国を挙げてデジタル化の推進を図る中、総務省の「利用者向けデジタル活用支援推進事業」や厚生労働省の第二次補正における「シルバー会員のデジタル利用促進事業」を活用するなど、全国のセンターに先駆けて、業務のデジタル化や会員のデジタル格差解消への取り組みにチャレンジしてきました。さらに、5年10月から始まる消費税におけるインボイス制度の導入や「特定受託事業者に係る取引の適正化等に関する法律案」など、従来とは異なる対応を求められることになる制度の変革に対しても、関係機関との連携の下、可能な限り準備を進めてきたところです。

団塊の世代が全員後期高齢者となる2025年を目前に、依然として少子化の進展に歯止めはかからず、超高齢人口減少社会は新たなステージを迎えようとしています。センターへの期待は益々高まるものの、その分、適正就業や安全管理の徹底など、業務に求められる厳しさも増す一方です。

このように、高齢者の活躍を通じた地域社会の活性化のため、「自主・自立、共働・共助」の基本理念の下、会員の健康と安全就業を第一に持続可能な運営に取り組んできた1年を振り返り、以下、令和4年度に実施した事業の詳細について報告いたします。

I 事業運営

1. 安全・適正就業の推進

センターでの活動における会員の安全を最優先事項とし、健康管理や傷害事故及び第三者等への損害賠償事故の防止のため、組織一丸となり安全対策の推進に努めました。

また、法令を遵守し、新たな就業機会の確保や既存契約先の就業形態について点検を実施しながら、適正就業の推進に取り組みました。

(1) 安全就業の徹底

ア 安全就業に係る普及啓発

7月から11月までを「安全推進期間」、7月を「安全就業強化月間」と定め、「安全就業推進実施計画」を基に安全就業に係る普及啓発活動を実施し、会員の安全意識の向上を図りました。

また、安全就業に係る啓発・周知を目的に、就業途上における事故防止策や熱中症対策などの記事を「安全就業強化月間特集号」へ掲載しました。

イ 再発防止策の徹底

発生した事故の要因分析のため、当事者からの聞き取りや現場確認を行い、安全対策を講じて事故の再発防止に努めました。また、事故の状況により、あらためて調査・確認が必要な場合には事故調査委員会を開催し、事故状況の詳細を把握・分析することにより、さらなる再発防止に努めました。

ウ 会員の健康管理の推進

「事務局だより」・「安全就業強化月間特集号」などを活用し、会員への健康診断の受診奨励や健康管理を啓発する記事を掲載し、健康に係る意識の向上に努めました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のための対策対応に係る記事を掲載し周知しました。

エ 研修会、講習会等による安全対策の習得と意識の高揚

会員の事故の未然防止と再発防止・健康管理を目的に、各種研修会・講習会の開催を予定しておりましたが、昨年同様、新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため一部を除いて研修会・講習会が中止となりました。

■安全就業講習会等実施状況

講習・研修会等名	開催日	開催場所	参加人数	備考
安全就業研修会 (交通安全講習会)	R5.1.27	仙台市シルバーセンター 交流ホール	87人	高齢者の自転車使用に伴う事故防止について

※安全運転技能研修会、安全就業講習会、救命講習会等は中止としました。

オ 安全パトロールによる検証

機械刈除草や植木剪定を中心に就業現場を巡回し、安全就業状況の点検・確認を行うとともに、就業に携わる会員の安全意識の向上を図り、事故防止及び安全就業の徹底を図りました。7月の「安全・適正就業強化月間」から安全パトロールを開始し、11月までの5日間で計11カ所を巡回し、安全確認のほか以下の対応を行いました。

- ① 検温・マスク着用の励行
- ② 緊急連絡カード・安全就業しおりの所持確認と励行
- ③ 作業前の確認（周囲に危険物・危険箇所の有無）
- ④ 健康診断の受診奨励
- ⑤ 安全就業基準の対応確認

カ 危機管理への対応

災害等の緊急事態や大きな事故が発生した際の対応として作成した「BCP（事業継続計画）」及び「事故発生時の情報伝達ルートと対応」や新型コロナウイルス感染拡大に伴う各種対応について、会員及び事務局職員に周知を図り緊急時の対応に備えました。

キ 衛生委員会の開催

シルバー派遣事業の実施に伴い、公益社団法人宮城県シルバー人材センター連合会仙台市事業所として、産業医・衛生管理者・派遣会員の代表者参加のもと「衛生委員会」を毎月開催し、派遣会員及びセンター職員の衛生管理と健康増進対策・災害予防対策等について検討を行いました。

また、シルバー派遣に係る労災事故の発生時には、事故状況の確認と分析を行い事故の再発防止対策に努めました。

■事故発生状況

事故発生 状況	年 度		R 4	R 3	R 2	R 1
	委任 ・ 請負	傷害事故	15 (11・4)	11 (9・2)	20 (15・5)	22 (13・9)
賠償事故		8	14	7	4	
派遣	労災事故	1	3	0	0	
	賠償事故	0	2	0	0	
合 計		24	30	27	26	

(単位：件)

※傷害保険（ ）は（就業中・就業途上）の件数内訳

(2) 適正就業の推進

ア 適正な就業の確保に向けた取り組み

仕事を引き受ける際には、依頼された就業形態を確認し、会員の働き方の指針となる「シルバー人材センター適正就業ガイドライン」を活用するなど、会員や発注者に対し適正な契約形態の説明を行い、互いに理解を得たうえで、適正な契約及び就業となるよう取り組みました。

イ 適正就業実態調査の実施

「適正な就業の確保」と「公平・適正な就業機会の提供」を目的として就業現場を巡回し、就業形態の実態を把握しながら、適正状況に修正が必要な場合は、会員への指導や発注者へ対し改善要望を行うなどの対応に取り組みました。

ウ 労働関係法令に対する対応

シルバー派遣への切り替えを行う場合やシルバー派遣として新規で受注する際は、同一労働同一賃金のルールを守るなど派遣労働者が不合理な待遇を受けないよう、法に沿った適正な対応を徹底しました。

2. 会員の増強・拡大

会員拡大を目的に新規会員の入会促進につながるさまざまな取り組みや、会員を対象とした各種研修・講習会を開催するなど会員のスキルアップや資質の向上・後継者の育成に努めました。

(1) 入会の促進

入会説明会は、新型コロナウイルス感染防止対策のため事前予約制や時間短縮など内容を工夫して本部・北部支部において毎月開催しました。併せて、宮城野区・若林区での出張入会説明会の開催やWEB（ウェブ）による入会説明会についても積極的に推進するなど会員拡大につながるよう取り組みました。その他、区民まつりや健康イベントなどでPR活動を行い、会員の拡大に努めました。

■入会説明会開催状況

	回数	参加人数（男・女）			入会者数（男・女）			入会率%
		男	女	合計	男	女	合計	
本部	12	483	(248)	(235)	316	(184)	(132)	65.4
北部支部	11	260	(147)	(113)	117	(68)	(49)	45.0
小計	23	743	(395)	(348)	433	(252)	(181)	58.3
宮城野区 （出張）	1 (8/26)	19	(6)	(13)	4	(0)	(4)	21.1
若林区 （出張）	1 (7/13)	25	(17)	(8)	13	(11)	(2)	52.0
小計	2	44	(23)	(21)	17	(11)	(6)	38.6
合計	25	787	(418)	(369)	450	(263)	(187)	57.2

※WEB手続きによる申込状況：（申込人数 173名　うち入会者数 99名）

■会員数の推移：（ ）内は女性会員数

（単位：人）

年度	入会者数	退会者数	比較増減	年度末会員数	前年度比
令和4年度	549 (220)	447 (150)	+102 (70)	2,807 (884)	103.8%
令和3年度	452 (167)	442 (124)	+10 (43)	2,705 (814)	100.4%
令和2年度	361 (133)	459 (156)	△98 (△23)	2,695 (771)	96.5%
令和元年度	507 (170)	446 (133)	+61 (37)	2,793 (794)	102.2%
平成30年度	496 (169)	423 (149)	+73 (20)	2,732 (757)	102.7%
平成29年度	460 (150)	374 (129)	+86 (21)	2,659 (737)	103.3%
平成28年度	422 (135)	387 (122)	+35 (13)	2,573 (716)	101.4%

(2) 会員の資質向上

ア 各種技能講習会

会員を対象とした各種技能講習会を開催し、後継者の育成や就業に係るスキルアップに努めました。

■職群班による技能講習会の実施状況

職 種	期 間	内 容 会 場	受講者 (延人数)	入班者 数	担当 支部
植木剪定	6/9～10	技能講習会（後継者育成） 泉海洋センター	2人 (2人)	0人	北部支部
	3/24～25	本部・北部合同 植木剪定技能講習会	16人 (16人)	—	本 部 北部支部
清 掃	5/26	清掃技能講習会 ユアテックスタジアム仙台	10人 (10人)	10人	北部支部
機械刈	5/16	スキルアップ研修 松陵研修所	32人 (32人)	—	本 部 北部支部
	9/14～16	新人実地研修 仙台市ガス局港工場	4人 (4人)	2人	北部支部
筆 耕	9/13	新人研修会 中央研修所	10人 (10人)	0人	本 部
	9/14	スキルアップ研修会 中央研修所	10人 (10人)	—	本 部
計	7回実施（延べ11日間）		84人 (84人)	12人	

※筆耕班については、他に毎週火曜日に勉強会を開催し、年4回開催している筆耕審査会では、延べ69名(宛名書き22名、賞状書き47名)が受験し、4名が合格(宛名書き3名、賞状書き1名)、2名が仮合格(宛名書き2名、賞状書き0名)となっている。

イ 接遇研修会

会員として必要とされる接遇スキル向上を目的に、接遇研修会を開催しました。

【日 時】令和5年1月27日（金）9時30分～10時30分

【会 場】仙台市シルバーセンター1階「交流ホール」

【内 容】『大人のための ビジネスマナー 研修』

～社会で必要とされるビジネスパーソンを目指すための基本マナー

【講 師】ワイズクオリティ株式会社 キャリアコンサルタント 小藤 弓 氏

【受講者】87名

ウ 新入会員研修会

入会説明会を受講した入会希望者を対象に「新入会員研修会」を開催し、センターの基本理念（自主・自立、共働・共助）や、会員として活動する際の心構えなどについて研修を行い、入会後に円滑に会員活動が行えるように努めました。

（３）退会防止の推進

未就業会員を対象とした就業相談を随時開催することで、会員の状況を把握しながら就業に結び付くよう努めました。

（４）会員活動の活性化

会員活動の活性化につながる対策として、センターが定める取り組みを行う会員に対してポイントを付与し、ポイント数に応じたサービスを提供するポイント制度の導入について検討を行いました。

3. 就業の場の確保・拡大

就業機会の拡大を図るため、就業コーディネーターによる発注先への訪問等を中心に、人手不足分野における職種や介護施設等における周辺業務について、センターの会員にふさわしい仕事の確保につながるよう就業開拓を推進しました。

また、広報ツールとして新たに作成したリーフレットを活用し普及啓発に努めるとともに、デジタルに関連した業務に対応できるような取り組みを行うなど、新たな分野の就業機会の拡大に努めました。

(1) 就業開拓の推進

市関係機関・団体や民間企業への訪問により、適正就業ガイドラインやリーフレットを活用しながら、センターにおける会員の就業に係る仕組みやセンターを利用するメリットについて説明し、新たな受注に結び付くよう就業開拓に取り組みました。

ア コーディネーターによる就業開拓

■就業コーディネーター活動状況 《本部4名・北部支部2名配置》

訪問件数	契約状況		
	契約件数	就業延日人員	契約金額
981件	88件	7,923人日	36,965,149円

※シルバー派遣含む

■家事援助コーディネーター活動状況 《本部・北部支部（兼務）1名配置》

契約状況		
契約件数	就業延日人員	契約金額
181件	450人日	1,630,565円

イ 新たな広報ツールを活用した就業開拓の推進

効果的な企業向けリーフレットを作成し、新たな広報ツールの活用により市関係機関・団体、業界団体などに対してPR文書の発送や直接訪問を行い就業開拓に努めました。

また、市関係機関・団体と連携し、コロナ禍における新しい生活様式に対応して必要となる業務の引き受けなどを積極的に行いました。

ウ 多様な発注者のニーズに対応したシルバー派遣事業の拡大

発注者からのさまざまなニーズに対応するため、依頼される就業形態によりシルバー派遣事業を利用することのメリットを発注者に説明しながら、シルバー派遣事業の拡大に取り組みました。

エ 人手不足となっている介護・子育て分野等における就業開拓

新たな広報ツールを活用し、関係機関・団体に対してセンターのPRを行い、就業開拓

に努めました。

オ 支援要請活動の実施

役職員が市長及び仙台市関係局・関係団体等を訪問し、さらなる就業機会提供等の協力などの要請活動を実施しました。

(2) 就業機会の拡大

就業依頼内容の確認を行いながら適切な契約形態を判断し、就業を希望する会員のデータを迅速に照合して就業マッチングを行うなど、就業機会の拡大に取り組みました。

また、空き家管理業務や家事援助サービスの事業拡大を図るため、効果的な PR の実施と並行して受注体制の強化に努めました。

ア 就業条件等ニーズの把握・分析

就業相談等を通じて就業を希望する会員の要望や就業条件等をヒアリングし、そのデータを基に多くの会員に就業の提供ができるよう努めました。

また、さらなる就業機会の拡大へ向けて全会員に対して「就業状況等に関する意向調査」を実施しました。

イ 家事援助サービス業務の充実

家事援助コーディネーターによる発注者宅への訪問など、センターの仕組みの説明や就業現場を事前に確認することにより、会員の就業が円滑に対応できるよう努めました。

また、就業希望者に対して実技や就業会員による体験発表を取り入れたスキルアップ研修を実施し、受注体制の強化を推進しました。

《家事援助サービス研修会の開催》

○【日 時】 令和 4 年 11 月 16 日（水）

①第 1 回 10：00～11：30 ②第 2 回 13：30～15：00

【場 所】 仙台市シルバー人材センター「中央研修所」

【講 師】 家事援助コーディネーター

【内 容】 ・家事援助サービスの意義・目的・内容

・食事調理、掃除の一般的な流れと上手な清掃の仕方（実技）

・家事援助就業会員 2 名による体験発表

「食事作り・掃除での発注者への対応等（何を求めているのかを考えるなど）」

・家事援助サービスの注意事項

【参加者】 ①第 1 回 15 名 ②第 2 回 13 名

ウ 空き家管理業務の推進

空き家管理業務を推進するため、仙台市の空き家対策の担当課と協議を行い、仙台市が

空き家所有者を対象とした「住まいの活用相談シート」と、「高齢者向け周知チラシ」にセンターで実施している空き家管理業務の内容を掲載し、業務拡大につながるよう努めました。

（３）普及啓発活動の推進

センターで対応可能な多種多様な就業の可能性について、さまざまな機会をとらえて効果的な広報活動を行い、また、併せて、地域社会から信頼と理解を得るため、シルバー事業の意義や仕組みを広く地域社会に周知するなど、年間を通して普及啓発活動を推進しました。

ア 普及啓発促進月間の実施

全シ協が定めている10月の「シルバー人材センター事業啓発促進月間」に併せて、各種イベント参加によるPR活動や市関係機関や民間企業へのリーフレットの設置依頼を行いました。

イ 年間を通じた広報活動の展開

各種広告の掲載や公共施設等へのリーフレット設置依頼等を行い、さまざまな機会をとらえて年間を通じた普及啓発活動を推進しました。

① メディアの活用

仙台市政だよりへ入会説明会の案内や、新聞へパソコン教室の案内の掲載を行いました。

また、家事援助サービスに従事する会員が、NHK仙台放送局の番組『てれまさむね「プロが教えます！」大掃除のコツ』へ出演し、清掃業務のPRを行いました。

② ホームページの活用・充実

ホームページへセンターの情報を随時掲載するなど、広くセンターの活動状況の情報を発信しました。

また、ホームページへ「新たに作成したセンターのPR動画」を掲載し、センターのイメージ向上に努めました。

③ 各種イベント（区民まつり・市民センターまつり等）への参加による広報活動

新型コロナウイルス感染拡大防止対策により、昨年度まで中止となっていた各種イベントが再開され、各区民まつり等に参加し、女性会員による手作り作品の販売、広報委員会・パソコン事業班によるリーフレット、マスク及びポケットティッシュ等の配布、ポスターの掲示を行いました。

④ 各種関係機関への広報パンフ設置

各区役所や市民センター等の市民利用施設、民間企業等へ広報パンフ設置依頼を行いました。

⑤ 各種広告媒体による広報活動

地下鉄駅構内電照広告看板（15ヵ所）継続掲示

⑥ 一般市民を対象とした各種研修会やイベント企画を通じた PR

- ・株式会社カーブスジャパンと共同で「からだの衰え度チェック」のイベントを開催し、センターでの就業を通じた健康づくりについて PR 活動を行いました。
- ・いきいきシルボンスワークショップ Vol.1「樹脂粘土で楽しもう！」(バラの花の鉢植え作品の制作)を開催し、会員等との交流を通じた PR 活動を行いました。

⑦ 広報用 PR 動画の活用

新たに作成したセンターの PR 動画の活用として、ホームページ・YouTube へのアップ及び入会説明会時、各種イベント(区民まつり・市民センターまつり、「からだの衰え度チェック」、「樹脂粘土で楽しもう！」等)参加時に上映を行いました。

⑧ SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用

センターのインスタグラムを新たに開設し、費用をかけず幅広い世代へアプローチすることを目的に、センターの事業について情報発信を積極的に行いました。

ウ 会報誌「シルバー仙台」の発行

広報誌を年2回(7月・1月)発行し、会員の声や地域班活動、各種イベント、就業現場の様子など、センターの活動状況について掲載しました。

エ 広告の掲載

市関係機関等が発行する機関誌にセンターの広告を掲載しました。

- ① せんだいくらしのガイド市民便利帳(7月発行)
- ② 仙台市退職者クラブ「仙萩会」だより(1月発行)
- ③ 仙台商工会議所発行月報「飛翔」(1月発行)
- ④ 仙台市連合町内会長会だより(3月発行)

オ 仙台ふるさと応援寄附返礼品協力事業者登録

家事援助サービスの広報を目的に「家事援助サービス」(価格 2,000 円)を返礼品として引き続き登録を行いました。

カ オリジナルロゴマークの活用

事業を広く周知するために、センターのオリジナルロゴマークを、ホームページや封筒、名刺、会報「シルバー仙台」などへ掲載し、普及啓発に努めました。

(4) 女性会員の活動の活性化

現役でハンドクラフト講師をしている女性会員に講師を依頼し、女性会員の活動活性化を目的に女性会員及びその知人の参加による、いきいきシルボンスワークショップ Vo.1「樹脂粘土で楽しもう！」を開催して樹脂粘土で作品を制作するなど交流を広げました。

また、女性会員の活動(手作り班や屋内軽作業等)状況の紹介や今後の女性会員の拡大を図る

ため、意見・要望等を確認するためのアンケートを実施しました。

《いきいきシルボンヌワークショップ Vo.1「樹脂粘土で楽しもう！」の開催》

【日 時】令和5年2月15日(水)

① 午前の部 10:00~12:00

② 午後の部 13:30~15:30

【場 所】仙台市シルバーセンター7階「第1研修室」

【参加者】18名（午前10名・午後8名）

（5）職群班活動の活性化

受注した業務を的確に対応できる体制強化のため、職群班長会議を2回開催し、後継者育成などによる受注体制の強化や安全就業対策の徹底等を目的に、各職群班の情報や課題の共有を図る意見交換を行いました。

また、後継者の育成を促進するため、植木剪定や除草作業における入班基準の見直しを行い基準の統一化を図り、職群班への新規入班希望者の対応が円滑になるように改善を行いました。

《職群班長会議の開催》

○第1回 職群班長会議

【日 時】令和4年6月27日（月）10:00~11:30

【場 所】仙台市シルバーセンター6階「第2研修室」

○第2回 職群班長会議

【日 時】令和5年3月6日（月）10:00~11:55

【場 所】仙台市シルバーセンター7階「第1研修室」

（6）各種調査・研究の実施

ア 入会説明会参加者へのアンケート実施

会員拡大につなげるため、入会説明会への参加者を対象としたアンケートを実施し、その結果に基づき、入会説明会の告知方法の効果的な取り組みの参考にするとともに、高齢者のセンター事業に対する意向等について確認を行いました。

イ 会員の就業状況等に関する意向調査実施

就業中の会員を対象に、現状における就業状況や安全・適正就業に関する状況確認のため、意向調査を実施し、その集計結果に基づいた対応及び今後の進め方について検討を行いました。

（7）社会貢献事業への取組

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年度同様にボランティア等の活動を自粛する状況が続きました。そういった中で感染対策をとりながら屋外での活動を中心に、地域

班による地域社会への貢献活動を実施しました。

また、これまで中止してきた泉区役所敷地内の除草・清掃ボランティアを再開し、北部支部の各職群班、地域班の役員を中心に貢献活動を実施しました。

(8) ICT活用による事業展開

シルバー会員が対応できるデジタルに関連した就業機会の拡大に繋げるため、既存の職群班の業務拡大を視野に入れながら、幅広くデジタルに関連した業務に対応できるよう就業体制の構築について検討しました。

また、業務のデジタル化を推進するために必要な機器やシステムの導入など業務や事業運営の効率化について取り組みました。

ア 利用者向けデジタル活用支援推進事業の実施

国の補助事業である、一般市民を対象とした高齢者等へのデジタル活用の不安解消を支援する事業について、センターが事業実施団体として携わり、スマートフォンの利用方法について教室を開催し、一般市民（会員含む）を対象とした地域の高齢者等のデジタル活用の推進に取り組みました。

また、デジタル活用支援推進事業の講師をパソコン事業班（職群班）の班員に依頼することで、事業を進めるための研修や教室の運営を通して、会員のデジタル関連のスキルアップを図りました。

イ 業務対応におけるデジタル化の推進

会員に対する情報提供の手法として、電話や文書での対応に加えてSMS（ショート・メッセージ・サービス）の活用を実施することで、迅速なやり取りと事務の効率化を図りました。

また、WEB（ウェブ）による入会説明会の受講や仕事の申し込みを積極的に推奨し、インターネット上から手続きが効率的に行えるよう対応しました。

ウ 事業運営におけるデジタル化の推進

理事会等の会議において、ペーパーレスや緊急時のリモート会議等、効率的な対応を視野に入れながら、試験的に役員用のiPad（アイパッド）を導入し研修等を実施しました。

(9) 介護分野の事業展開

介護事業所を対象に、国の補助金によるトライアル奨励事業を活用し、センターで行える職種を提案しながら、労働力が不足していると思われる介護事業の周辺業務の新たな就業機会を創出しました。

4. 運営体制の充実・強化

会員・役職員がセンター事業の基本理念や趣旨に沿った事業を遂行し、公益法人として適正な運営に努め、高齢者が活力ある活動を継続することで地域社会の活性化につながるよう事業運営を推進しました。

また、新型コロナウイルス感染拡大の影響が残っていた中で、安定した事業運営となるよう、事務局機能の強化を図りながら事業の進捗状況の把握と適切な判断による事業の遂行に努め、適正な運営・事業拡大に取り組みました。

(1) 理事会、委員会・部会体制の強化

理事会を定期的に開催し、事業運営に係る情報や課題を共有しながら事業運営を遂行しました。

また、理事意見交換会や各委員会・部会の委員長で構成される運営会議を開催し、それぞれの組織が担当する懸案事項の確認や情報を共有し、各委員会・部会において理事を中心に状況を分析しながら効果的な課題の解決・改善に向けた事業を推進しました。

(2) 仙台市生涯現役サポートセンターの取り組み

高齢者が地域で働ける場や社会を支える活動として仙台市が実施してきた「生涯現役促進地域連携事業」を引き継ぐ形で、新たな事業として「仙台市生涯現役サポートセンター」を開設しました。高齢者の雇用・就業相談窓口を設置し、年齢に関わりなく働くことができる生涯現役社会の実現に向けた取り組みを行いました。

■生涯現役サポートセンター事業実績（令和4年8月～令和5年3月）

対象	相談件数		相談実施による結果	
	求職者	問い合わせ	229件	雇用・就業者数
相談・来所		183件	他団体の情報紹介実績	10人
事業者	問い合わせ	109件	雇用・就業者数	163人
	相談・来所・訪問	75件	他団体の情報紹介実績	0件

(3) 地域班の活性化

「ブロック代表・地域班長合同会議」等を開催し、センター情報の伝達や地域班活動に向けた意見交換を行い地域班の活性化に努めました。

また、新任のブロック代表や地域班長を対象に研修を行い、地域班活動に向けたサポートを行いました。

《地域班が活動するための体制強化を目的とした会議》

○第1回 ブロック代表・地域班長合同会議（新任ブロック代表・地域班長研修含む）

【日時】令和4年4月13日（水）9：30～11：40

【場所】仙台市シルバーセンター7階「第1研修室」

○第2回 ブロック代表・地域班長合同会議

【日 時】令和4年10月13日(木) 10:00~11:30

【場 所】仙台市シルバーセンター7階「第1研修室」

○行政区別ブロック代表・地域班長合同会議

・青葉区 11/8 ・宮城野区 11/17 ・若林区 11/22 ・太白区 11/22 ・泉区 11/11

(4) 事務局機能の拡充・強化

センターの基本理念に基づく会員の自主的な事業運営が円滑に遂行できるよう、理事会及び各委員会・部会等と連動し、事業計画に基づく事業を推進しました。

併せて、事業運営の円滑化を図るために、事務局内における定期的な研修会の開催により職員のスキルアップに努めるとともに、業務のデジタル化の推進を図りました。

また、シルバー事業に係る制度・環境が大きく変化する状況を踏まえ、関連する情報収集や将来を見据えた対策対応について検討を行いました。

(5) 事業運営基盤の強化

新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年度以降、前年実績を下回っていた契約金額が目標数値を達成して前年比を上回り、一定の自主財源を確保することができました。

併せて、会員のデジタル化を推進するために国・仙台市から新たな補助金(デジタル利用促進事業)を確保するなど事業運営の強化を図りました。

事業運営にあたっては、進捗状況や事業に係る予算の執行状況を管理しながら効果的に推進するとともに、インボイス制度導入に係る対策・財源の確保等について検討を行い、安定した運営が図れるよう事業を推進しました。

また、顧問税理士による定期的な指導・助言に基づき、会計全般の適正化を図りました。

(6) 新型コロナウイルス感染防止対策

昨年度に引き続き、事務局内における感染予防対策の徹底を図りました。

また、会員に対しては感染予防対策について啓発・周知するとともに、迅速な情報収集と対応により感染拡大防止に努めました。

(7) 「中期経営方針2023」の策定

新たな中・長期にわたる基本計画の策定を行う予定でしたが、今後、シルバー人材センター事業をめぐる制度・環境等が大きく変わることが予想されることから、現段階で中・長期にわたる計画を策定することは難しいと判断し、令和5年度以降については、さまざまな変化に柔軟にセンターが対応できるよう、「中期経営方針2023」を策定し、その内容に基づきセンターの事業を推進することとしました。

※ 令和4年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の付属明細書は作成していない。

II 会員の状況

1 会員数

令和5年3月31日 現在 2,807人(男 1,923人、女 884人)

2 男女別会員状況（シルバー派遣事業含む）

	平均年齢(才)	最高年齢(才)	就業実人員(A) (人)	会員数(B)(人)	就業率(A/B) (%)
男	74.3	91	1,386	1,923	72.1
女	72.6	90	693	884	78.4
計	73.7	91	2,079	2,807	74.1

3 年齢別会員数

(単位：人)

	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	合計
男	35	321	745	595	227	1,923
女	61	212	330	208	73	884
計	96	533	1,075	803	300	2,807

4 年齢別就業状況

(単位：人)

	65歳未満	65歳～69歳	70歳～74歳	75歳～79歳	80歳以上	合計
男	20	188	527	402	157	1,294
女	36	148	245	166	55	650
計	56	336	772	568	212	1,944

5 在会期間別会員数

(単位：人)

	1年未満	1～2年 未 満	2～4年 未 満	4～6年 未 満	6～8年 未 満	8～10年 未 満	10年以上	合計
男	306	212	324	266	216	178	421	1,923
女	203	128	148	130	75	57	143	884
計	509	340	472	396	291	235	564	2,807

6 職群別登録会員数

(単位：人)

	技術群	技能群	事務群	管理群	折衝 外交群	一般 作業群	サービ ス群	合 計
男	194	230	150	523	66	720	40	1,923
女	34	29	180	47	46	359	189	884
計	228	259	330	570	112	1,079	229	2,807

7 新入会員の年齢別・入会動機別会員数

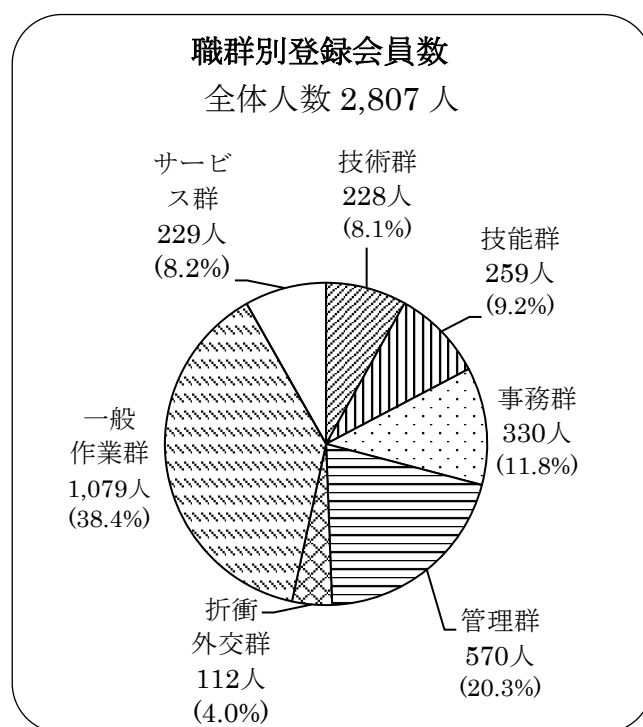
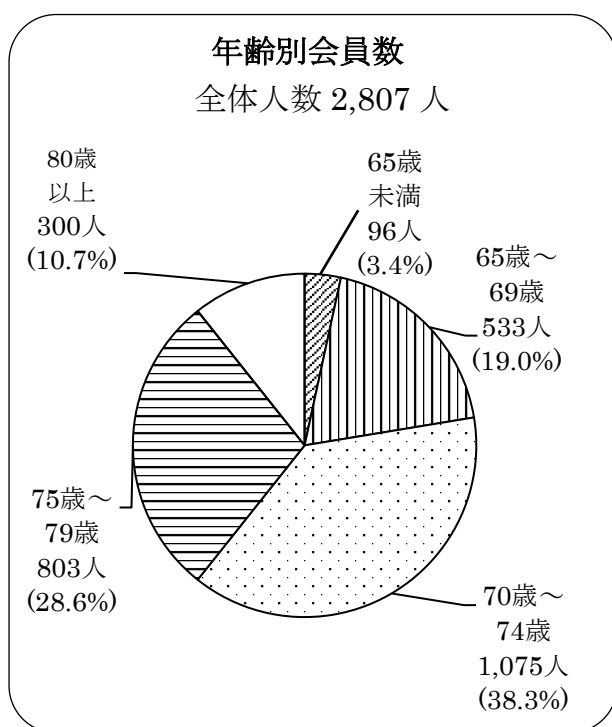
(単位：人)

	65歳未満		65歳～69歳		70歳～74歳		75歳～79歳		80歳以上		合 計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	合計
生きがい、社会参加	11	17	30	30	38	14	9	5	2	0	90	66	156
仲間作り	0	2	5	1	5	1	4	2	1	1	15	7	22
時間的余裕	3	6	28	21	26	19	7	5	3	1	67	52	119
健康維持・増進	4	3	14	9	26	13	11	4	1	0	56	29	85
経済的理由	5	8	31	19	30	22	22	7	5	0	93	56	149
そ の 他	2	3	4	1	2	5	0	0	0	1	8	10	18
計	25	39	112	81	127	74	53	23	12	3	329	220	549

8 退会理由別会員数

(単位：人)

	病気	就職	死亡	転居	仕事 なし	家庭事情 (介護等)	会費 未納	加齢	その他	合 計
男	42	39	16	6	47	16	62	34	35	297
女	18	16	0	6	25	19	30	27	9	150
計	60	55	16	12	72	35	92	61	44	447



Ⅲ 事業実績

1 受託業務実績

(1) 契約件数	6,417 件
(2) 就業実人員 (年間を通じて1回以上就業した会員)	1,944 人
(3) 就業率 (会員数に対する就業した会員の割合)	69.3 %
(4) 就業延実人員 (就業件数を1件として集計した会員数)	33,312 人
(5) 就業延日人員 (年間に就業した会員の延日人数)	196,667 人日
(6) 契約金額	965,935,355 円
【内 訳】 配分金 (交通費を含む)	872,408,175 円
材料費等	19,302,875 円
事務費	74,224,305 円
	(前年比 97.8%)

(7) 公民別就業実績

	公共団体	民間企業	一般家庭	独自事業	合 計	
契約件数 (件)	406	1,837	4,145	29	6,417	
就業延実人員 (人)	2,364	18,371	12,333	244	33,312	
就業延日人員 (人・日)	12,491	166,091	17,731	354	196,667	
契約 金額 (円)	配 分 金	73,155,081	681,174,666	117,439,799	638,629	872,408,175
	材 料 費 等	2,874,885	5,873,397	10,539,503	15,090	19,302,875
	事 務 費	7,994,865	56,033,847	10,138,542	57,051	74,224,305
	合 計	84,024,831	743,081,910	138,117,844	710,770	965,935,355
	構 成 比 (%)	8.7	76.9	14.3	0.1	100

※公社・公団等の契約金額 34,439,800 円は、民間企業に含まれています。

(8) 職群別就業実績

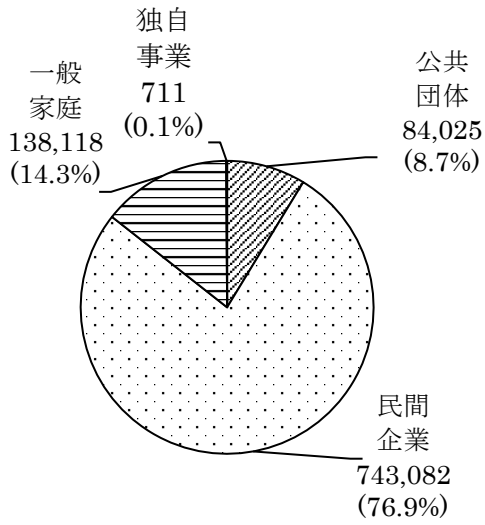
	契約 件数 (件)	就業延 実人員 (人)	就業延 日人員 (人日)	契 約 金 額 (円)				比率 (%)
				配分金	材料費等	事務費	合 計	
技術群	35	133	388	1,420,951	15,490	111,165	1,547,606	0.2
技能群	2,247	7,186	8,243	74,393,644	8,463,716	6,266,355	89,123,715	9.2
事務群	1,018	2,572	9,215	48,802,092	301,771	5,121,620	54,225,483	5.6
管理群	127	2,638	33,725	134,616,131	73,450	10,970,089	145,659,670	15.1
折衝外交群	4	128	1,986	7,787,662	0	700,285	8,487,947	0.9
一般作業群	2,650	19,520	139,136	593,027,807	10,445,478	50,052,667	653,525,952	67.6
サービス群	336	1,135	3,974	12,359,888	2,970	1,002,124	13,364,982	1.4
計	6,417	33,312	196,667	872,408,175	19,302,875	74,224,305	965,935,355	100

【参考】職群別就業実績内訳

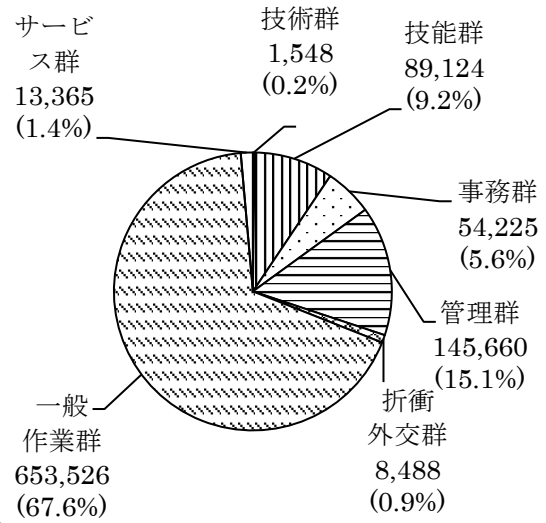
職 群	職 種	令和4年度			令和3年度			契約金額対前年比 (A-B)
		受注件数(件)	就業延日人員(人日)	A 契約金額(円)	受注件数(件)	就業延日人員(人日)	B 契約金額(円)	
技術群	教育・講座指導等	45	232	651,614	41	178	576,100	76.2% (△ 482,789)
	経理事務	12	56	430,714	13	59	441,214	
	設備等保守点検	18	99	462,528	26	184	1,007,681	
	その他特殊技術等	1	1	2,750	1	1	5,400	
	小 計	76	388	1,547,606	81	422	2,030,395	
技能群	大工	35	204	2,112,116	38	184	1,776,945	108.1% (6,660,534)
	塗装	11	148	813,981	21	322	1,763,518	
	表具・表装	150	249	2,721,591	135	225	2,020,596	
	植木剪定	2,046	7,090	81,087,889	2,054	6,396	74,134,260	
	その他の技能	49	552	2,388,138	56	545	2,767,862	
	小 計	2,291	8,243	89,123,715	2,304	7,672	82,463,181	
事務群	整理事務等	256	6,347	39,248,093	192	2,958	17,831,862	164.4% (21,237,093)
	宛名書き	77	470	539,793	78	531	598,178	
	賞状書き	704	1,925	11,313,525	753	2,358	12,580,012	
	その他筆耕	176	473	3,124,072	136	327	1,978,338	
	小 計	1,213	9,215	54,225,483	1,159	6,174	32,988,390	
管理群	建物・事務所管理	368	8,481	45,020,800	677	16,084	99,643,846	72.1% (△ 56,260,374)
	駐輪場・駐車場管理	111	3,222	14,580,186	99	3,026	12,412,140	
	その他施設等管理	111	1,606	9,045,290	104	1,404	7,958,195	
	商品管理等	453	20,416	77,013,394	518	22,614	81,874,663	
	空き家管理	0	0	0	12	12	31,200	
	小 計	1,043	33,725	145,659,670	1,410	43,140	201,920,044	
折衝外交群	販売・集金	17	1,974	8,435,441	17	1,966	7,988,602	99.4% (△ 49,874)
	配達・外交・営業	12	12	52,506	28	131	549,219	
	小 計	29	1,986	8,487,947	45	2,097	8,537,821	
一般作業群	屋外清掃	1,021	15,395	76,312,184	787	13,873	69,964,831	101.0% (6,352,868)
	除草(手刈)	1,782	6,376	47,378,205	2,023	6,820	48,881,612	
	除草(機械刈)	495	3,654	44,341,941	501	3,360	41,196,519	
	その他の屋外作業等	415	9,072	43,429,112	439	12,520	67,830,855	
	屋内清掃	2,853	49,461	188,531,932	2,584	48,768	175,278,313	
	包装・梱包作業等	77	2,647	11,557,970	84	2,676	10,902,196	
	調理・賄い	66	973	4,004,062	77	926	4,069,942	
	その他の屋内作業等	1,192	51,558	237,970,546	1,171	51,416	229,048,816	
	小 計	7,901	139,136	653,525,952	7,666	140,359	647,173,084	
サービス群	家事援助サービス	1,012	3,938	13,219,082	1,083	3,917	12,775,653	104.1% (527,884)
	その他のサービス	9	36	145,900	10	15	61,445	
	小 計	1,021	3,974	13,364,982	1,093	3,932	12,837,098	
合 計		13,574	196,667	965,935,355	13,758	203,796	987,950,013	97.8% (△22,014,658)

(注:受注件数は、継続も月一件として計上)

発注者別契約金額
(単位：千円)



職群別契約金額
(単位：千円)



2 シルバー派遣事業実績

契約件数 (件)	派遣会員数 (人)	就業延日人員 (人日)	派遣賃金等 (円)	派遣手数料 (円)		契約金額 (円)
				県連合会分	仙台市事業所分	
356	187	20,360	89,861,717	21,030,145		110,891,862 (前年比 127.8%)
				5,888,031	15,142,114	

※事業主は宮城県シルバー人材センター連合会となるため、会計上は当センターの仙台市事業所分としての派遣手数料（実績額より有給休暇費用差引）のみ計上

3 「受託業務・シルバー派遣事業」実績総合計

契約形態	契約件数 (件)	就業実人員 (人)	就業延日人員 (人日)	契約金額 (円)
受託業務契約	6,417	2,079 【就業率 74.1%】 ※受託・派遣事業者を含めた数値	196,667	965,935,355
派遣事業契約	356		20,360	110,891,862
計	6,773		217,027	1,076,827,217
前年実績比	6,857 (△84)	2,044 (+35) 【就業率 75.6%】 (△1.5%)	221,098 (△4,071)	1,074,689,869 (+2,137,348) (前年比 100.2%)

※受託事業とシルバー派遣事業の両方で就業している会員は実人員1人とカウント

IV 会議の開催状況

1 定時総会

会議の名称	開催日	議事・報告
令和4年度 定時総会	6月10日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算報告について 監査報告 ・補欠役員（理事）の選任について ・令和4年度事業計画について ・令和4年度収支予算について

2 理事会

会議の名称	開催日	議事・報告
第1回理事会	5月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度事業報告について ・令和3年度決算報告及び監査報告について ・補欠役員（理事）候補者の選定について ・令和4年度定時総会について ・令和4年度定時総会での表彰受賞者について ・個人情報の保護に関する規程の一部改正について ・個人情報保護方針の一部改正について ・会員の入退会状況について ・理事長、副理事長、専務理事の職務執行状況について ・事務局職員給与規程の一部改正について ・令和3年度事故発生状況について ・デジタル活用支援推進事業への申請について ・生涯現役促進地域連携事業の後継事業について ・健康イベント（からだの衰え度チェック）の開催結果について ・その他
第2回理事会	7月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・シルバー派遣事業個人情報適正管理規程の廃止について ・愛宕班と八木山班の統合及びそれに伴う地域班設置規程の一部改正について ・賛助会員の入会承認について ・会員の入退会状況について ・令和4年度5月末事業実績について ・安全・適正就業強化月間の取り組みについて ・令和4年度事故発生状況について ・仙台市生涯現役サポートセンターの窓口開設について ・全国シルバー人材センター事業協会の定時総会について ・支援要請活動について ・その他
第3回理事会	9月7日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度7月末事業実績について ・会員の入退会状況について ・最低賃金の改正に伴う契約単価について

		<ul style="list-style-type: none"> ・各委員会・部会の進捗状況と今後の予定について ・市長及び市議会議長、市関係部局への支援要請活動について ・理事長、副理事長、専務理事の職務執行状況について ・その他
第4回理事会	11月9日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第一次収支補正予算について ・旅費規程の一部改正について ・事務費規程の一部改正について ・配分金見積基準の見直しについて ・理事及び監事候補者選考委員会の設置について ・令和4年度9月末事業実績について ・会員の入退会状況について ・令和4年度上半期財政状況について ・「中・長期基本計画」の策定について ・令和4年度事故発生状況について ・令和4年度安全就業に係る表彰について ・その他
第5回理事会	1月26日	<ul style="list-style-type: none"> ・正会員の理事及び監事候補者の選考方法について ・理事及び監事候補者選考委員の選任について ・「中・長期基本計画」策定延期及び「中期経営方針（骨子）」について ・令和5年度事業計画の骨子について ・令和4年12月末事業実績及び年度末事業実績見込みについて ・会員の入退会状況について ・各委員会・部会の進捗状況と今後の予定について ・職員の異動について ・職員採用試験の結果について ・事務局職員給与規程の一部改正について ・その他
第6回理事会	2月28日	<ul style="list-style-type: none"> ・「中期経営方針2023」について ・令和5年度事業計画について ・令和5年度収支予算について ・職群班設置規程の一部改正について ・常勤役員の報酬額の改定について ・令和5年1月末事業実績について ・会員の入退会状況について ・職員の給与に関する規則の一部改正について ・理事長、副理事長、専務理事の職務執行状況について ・その他
第7回理事会	3月24日	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度第二次収支補正予算について ・職員就業規則の一部改正について ・社団法人D&O保険（役員賠償責任保険）保険契約の締結について ・ポイント制度について ・特定費用準備資金について ・令和5年2月末事業実績について ・会員の入退会状況について ・令和5年度「安全就業推進実施計画（上半期）」について ・事務局職員給与規程の一部改正について ・令和5年度事務局体制について ・その他

3 その他の会議

会議の名称	開催日	内 容
理事意見交換会 及び第1回運営会議	10月25日	<ul style="list-style-type: none">・「中・長期基本計画」の策定について・各委員会・部会の連携と今後の方向性について・インボイス制度に係るその後の情報と対応について・令和5年度役員の改選について・その他
第2回運営会議	2月20日	<ul style="list-style-type: none">・「中期経営方針2023」(案)について・令和5年度事業計画(案)について・令和5年度予算編成のポイント・その他